

2021年5月25日

**SUBARU「レヴォーグ」が、
JNCAP「自動車安全性能 2020 ファイブスター大賞」を受賞**
～衝突安全性能と予防安全性能の総合評価で最高得点を獲得～

このたび、国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA^{*1})が実施した、自動車の安全性能を比較評価する自動車アセスメント(JNCAP^{*2})において、SUBARU「レヴォーグ」が 2020 年度の衝突安全性能と予防安全性能の総合評価で最高得点^{*3}を獲得し「自動車安全性能 2020 ファイブスター^{*4} 大賞^{*5}」を受賞しました。



レヴォーグ GT-H EX



自動車安全性能 2020 ファイブスター大賞

「レヴォーグ」は、SUBARU に脈々と受け継がれる「より遠くまで、より早く、より快適に、より安全に」というグランドツーリングの DNA を継承。そのうえで、SUBARU の最新技術を結集し、「先進安全」、「スポーティ」、「ワゴン価値」の3つの価値を革新的に進化させたパフォーマンスワゴンです。

「衝突安全性能」では、スバルグローバルプラットフォーム×フルインナーフレーム構造を採用。従来モデルに対し、ボディ構造の最適化と高張力鋼板の適切な配置により、質量増を抑えながら、前面・側面・後面すべての衝突安全性能を大幅に向上させました。

またデュアル SRS エアバッグをはじめ、側面衝突時に備える SRS サイドエアバッグ+SRS カーテンエアバッグや、前面衝突時に下肢へのダメージを軽減する運転席 SRS ニーエアバッグ、さらにシートベルトによる拘束保護性能を高める助手席 SRS シートクッションエアバッグを採用。さらに歩行者保護エアバッグを全車標準装備。バンパー内部の圧力センサーにより歩行者との衝突事故を検知し、瞬時にフロントガラスと A ピラーの下端をエアバッグで覆うことで、歩行者の頭部へのダメージ軽減を図ります。

「予防安全性能」では、視野を大幅に広げた新開発のステレオカメラに加えて、前後 4 つのレーダーを組み合わせることで 360 度センシングを実現した新世代アイサイトを全車標準装備。ソフトウェアの性能向上や電動ブレーキブースターの採用などとあわせて、交差点の右左折時や見通しの悪い場所での出会い頭など、より幅広いシーンで衝突回避のサポートを行います。

また万一、交通事故やトラブルが発生した際に確かな安心をサポートするコネクティッドサービス「SUBARU STARLINK^{*6}」を採用。24 時間 365 日、クルマと SUBARU がつながることで、さらなる安心を提供します。

SUBARU が提案する「安心と愉しさ」を支える重要な要素である安全性能を、総合安全^{*7} の考え方のもとに今後も進化させ、2030 年死亡交通事故ゼロ^{*8}を目指します。

<SUBARU オフィシャル web サイト レヴオーグ>

<https://www.subaru.jp/levorg/levorg/>

<試験結果詳細(NASVA ホームページ)>

https://www.nasva.go.jp/mamoru/assessment_car/detail/232

*1: National Agency for Automotive Safety and Victims' Aid

*2: Japan New Car Assessment Program

*3: 衝突安全性能評価: ランク A/96.91 点(100 点満点)、予防安全性能評価: ランク A/82.00 点(82 点満点)、
事故自動緊急通報装置: 8 点(8 点満点)、総得点: ファイブスター/186.91 点(190 点満点)

*4: 衝突安全性能及び予防安全性能の評価が A ランク且つ事故自動緊急通報装置を備えていること

*5: ファイブスター賞の対象車種のうち評価年度内での最高得点の車種に与えられる賞

*6: サービス詳細は、専用サイトをご確認ください

<https://www.subaru.jp/connected/>

*7: 0 次安全、走行安全、予防安全、衝突安全+つながる安全

*8: SUBARU 乗車中の死亡事故および SUBARU との衝突による歩行者・自転車等の死亡事故をゼロ